

平成31年度

# 熊本県立八代中学校

## シラバス



# 目 次

国語	2
社会	9
数学	16
理科	30
音楽	36
美術	33
保健体育	36
技術分野	42
家庭分野	48
英語	54

教科	国語	科目	国語	学年	1	類型	
単位数	4	教科書	東京書籍 新編新しい国語1				
副教材	増補版国語便覧熊本県版、基礎の学習1、常用漢字ダブルクリア、中1徹底演習テキスト国語						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。</li> <li>・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	風の五線譜	・詩の意味を捉え、読み方を工夫して音読する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	話し方はどうか	・話し方について知り、声に出して文章を読む。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	詩の心－発見の喜び	・言葉の意味を的確に捉え、詩を音読して読み味わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	鮮やかに表現する	・詩を鑑賞して、自分のものの見方を広げる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	小さな発見を詩にしよう	・言葉を選び、表現を工夫して、詩を仕上げる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	音声の働きや仕組み	・音声の働きや仕組みについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	文法とは・言葉の単位	・言葉の単位について学ぶ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	活字と下記文字・画数・筆順	・活字と下記文字の違い、画数、筆順について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	飛べ かもめ	・場面の様子や登場人物の思いに注意して、読み味わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	さんちき	・想像を膨らませ、ものの見方を広げる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	質問する	・相手の考えをよりよく理解するために、的確な質問を考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	会話が弾む質問をしよう	・話の内容が深まるような、よりよい質問をする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	つなぐ言葉・指し示す言葉	・つなぐ言葉や指し示す言葉の働きについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	オオカミを見る目	・段落の役割や、段落どうしの関係に着目して文章の構成を捉え、内容を読み取る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	構成を考えて書こう	・筆者の書き方について、自分の考えを持つ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	―「私」の説明文	・普段の生活を振り返り、書くための材料を集め、伝える内容を考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	碑	・読書に親しみ、いろいろなものの見方、考え方にふれる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	分類する	・情報を的確に分類する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	文の成分・連文節	・文の成分や、連文節、文節の関係について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	音読み・訓読み	・漢字の音読みと訓読みについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	暑中見舞いを書こう	・目的や必要に応じた筆記用具を選択し、暑中見舞いを書く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	スズメは本当に減っているか	・事実と筆者の考えとを読み分けながら、文章の展開を捉える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	事実と考えを区別する。	・文章の内容や、筆者のものの見方、考え方について、感想や考えを持つ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	根拠を明確にして書こう一意	・事実と考えを区別したり、考えの根拠に注目したりする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	見文	・説得力のある根拠を考え、根拠を明確に示して意見を書く。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	順序立てて説明する	・情報を整理し、順序立てて分かりやすく説明する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	具体例を挙げて伝えよう	・具体例を取り入れ、順序立てて話を組み立てる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	単語の分類	・単語の分類の仕方について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
漢字の部首	・漢字の部首やその意味について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
月夜の浜辺	・詩の中の言葉から情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
古典の世界	・古典にはさまざまな種類の作品があることを知り、興味や	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	

	伊曾保物語 竹取物語 矛盾 案内や報告の文章を書こう 名詞 少年の日の思い出  脈を捉え、伏線に気づく  語の意味と文脈・多義語  集まって住む	関心を持つ。 ・歴史的仮名遣いに注意して音読し、古文の読み方に慣れる。 ・古典の作品に描かれた人間の心のありようについて考える。 ・訓読に必要な決まりを知り、漢文特有のリズムを味わう。 ・必要な情報を選び出し、分かりやすい構成でまとめる。 ・名詞の種類について理解する。 ・自分や情景描写に着目して、主題を考える。 ・構成の工夫について、自分の考えを持つ。 ・登場人物や場面の展開に注意して、文脈を捉え、伏線に気づく。 ・語のさまざまな意味や、文脈の働き、多義語について理解する。 ・目的に合った本を探し、必要な情報を読み取ってまとめる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	ニュースの見方を考えよう 学校新聞の記事を書こう 話し合いで理解を深めよう 作品のよさを表現しよう 名づけられた葉 トロッコ 漢字の成り立ち 連体詞・副詞・接続詞	・情報への接し方と情報の用い方を身につける。 ・図表を用いて情報を効果的に伝える。 ・本や映画の感想を書くことを通して、自分の思いを伝える表現力を養う。 ・詩に表れているものの見方を捉え、自分の考え方を広くする。 ・情景描写などの表現の効果について考える。 ・漢字の成り立ちについて理解する。 ・単語の類別について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p><b>【授業の進め方やポイント】</b></p> <p>○教科書をよく読んで内容の理解に努める。          ○音読に積極的に取り組む。          ○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。          ○配られたプリントはフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。          ○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。          ○感想や疑問をしっかり出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。</p> <p><b>【家庭学習の進め方やポイント】</b></p> <p>○新しい単元に入るときは、新出漢字と語句の確認をする。（「基礎の学習1」や辞書の活用）          ○授業の後は授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。（「基礎の学習1」の活用）          ○出された課題や宿題は必ずする。          ○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を続ける。          ○習った漢字や語句は何度も練習し、定着させる。          ○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章（新聞等）を読み、分からない言葉や漢字は調べる習慣を身につける。辞書を引くことをおっくうに考えないようにする。</p>
------	--

評価方法	<p><b>【国語への関心・意欲・態度】</b> 授業中の様子、漢字テスト、課題の提出状況、定期テスト、発表</p> <p><b>【聞く・話す能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【書く能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【読む能力】</b> 定期テスト小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【言語事項】</b> 定期テスト、漢字テスト、小テスト、書写作品など</p>
------	---

教科	国語	科目	国語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	東京書籍 新編新しい国語2				
副教材	増補版国語便覧熊本県版、基礎の学習2、常用漢字ダブルクリア、中2徹底演習テキスト国語						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。</li> <li>・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価			
			A	B	C	
1 学期	未来へ メッセージをどう聞か 短歌を楽しむ 短歌のリズムで表現しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・さまざまな表現に注意して詩の意味を捉え、工夫して音読する。</li> <li>・キーワードの意味に注意して、筆者の考えを捉える。</li> <li>・情景や心情を表す語句に注意して、短歌を読み味わう。</li> <li>・短歌の表現の工夫などを捉えて、鑑賞したことをまとめる。</li> <li>・自然や体験の描き方を工夫して、短歌を作る。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	方言と共通語 敬語 字のない葉書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・方言と共通語の役割について理解する。</li> <li>・敬語の種類や使い方について理解する。</li> <li>・登場人物の言葉や行動がどんな意味を持っているかに注意して、作品を読み味わう。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	卒業ホームラン 問題意識を持って聞こう 形の似た漢字 鯉節—世界に誇る伝統食	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登場人物のものの見方や考え方について、自分の考えを持つ。</li> <li>・問題意識を持って相手の話を聞き、自分の考えと比較する。</li> <li>・形の似た漢字に注意する。</li> <li>・文章全体と部分との関係や、筆者の書き方の工夫に注意して、内容を読みとる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	要約する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の物の見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ。</li> <li>・要約の仕方のポイントを理解し、文章全体と部分との関係に注意して的確に要約する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	テーマを立てて説明する 調べて考えたことを伝えよう —「食文化」のレポート	<ul style="list-style-type: none"> <li>・調査して報告するために、ふさわしいテーマを立てる。</li> <li>・普段の生活やメディアなどで見聞きすることからテーマを決めて、調査する。</li> <li>・調べて分かった事実や自分の考えが明確に伝わるように、構成を工夫してレポートを書く。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	用言の活用 漢字の意味 小さな労働者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・用言の活用形の種類や、活用の仕方について理解する。</li> <li>・漢字の意味を理解し、漢字を使いこなす。</li> <li>・本を読み、その魅力について自分の考えをまとめる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 学期	哲学的思考のすすめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の考えなどについて、知識や体験と関連づけて自分の考えを持つ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		論証の組み立てを捉える 反対意見を想定して書こう— 意見文 説得力のある提案をしよう— プレゼンテーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・論証の組み立てを捉え、説得力があるかどうかを吟味する。</li> <li>・自分の立場を明確にして、分かりやすい構成で意見文を書く。</li> <li>・聞き手の立場や考えを想定して、説得力のある話を組み立てる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		助詞 同訓異字 落葉松	<ul style="list-style-type: none"> <li>・助詞の種類や働きについて理解する。</li> <li>・同訓異字を理解し、適切に使い分ける。</li> <li>・詩に描かれた情景や心情を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		枕草子・徒然草	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者のものの見方や考え方、表現の仕方を捉える。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	平家物語 漢詩 敬語 依頼状やお礼状を書こう  話し言葉と書き言葉 助動詞 走れメロス 人物像を捉える 類義語・対義語 歴史の物差し―水月湖の年 編	・状況や心情を読み取り、武士の価値観や生き方について考える。 ・表現の特徴に注意して朗読し、漢詩を味わう。 ・尊敬語・謙譲語・丁寧語を使い分ける。 ・書いた文章を読み返し、語句や文の使い方などに注意して推敲する。 ・話し言葉と書き言葉の特徴について理解する。 ・助動詞の種類や意味について理解する。 ・人物や情景の効果的な描写に着目して、作品を読み深める。 ・人物の言動の意味に注意して、人物像を捉える。 ・類義語や対義語について理解する。 ・複数の情報源から情報を得て、比べながら自分の考えをまとめる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	「正しい」言葉は信じられるか タウン誌の記事を推敲しよう 反論する 話し合いで問題を検討しよう ーリンクマップによる話し合 い 想像を誘うように表現する いきいきと描き出そう  同音異義語 わたしが一番きれいだったと き 坊っちゃん	・事実の述べ方による、読み手に与える印象の違いについて考える。 ・構成や表現の効果について考えて、文章を推敲する。 ・議論の問題点を捉えたり、的確な反論を考えたりする。 ・さまざまなメディアを使って討論のテーマを決め、メリットとデメリットを出し合う。 ・描き方を工夫して、想像を誘う表現をする。 ・情景や心情などをいきいきと表すように、描写を工夫して物語を作る。 ・同音異義語を使い分ける。 ・心情が読み取れる言葉に注意して詩を読む。 ・文学作品を読み、登場人物の考え方や人柄などについて考える。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p><b>【授業の進め方やポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教科書をよく読んで内容の理解に努める。</li> <li>○音読に積極的に取り組む。</li> <li>○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。</li> <li>○配られたプリントはフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。</li> <li>○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。</li> <li>○感想や疑問をしっかり出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。</li> </ul> <p><b>【家庭学習の進め方やポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新しい単元の前に、新出漢字と語句の確認をする。（「基礎の学習2」の利用、辞書の活用）</li> <li>○授業の後は授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。（「基礎の学習2」の活用）</li> <li>○出された課題や宿題は必ずする。</li> <li>○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を続ける。</li> <li>○習った漢字や語句は何度も練習し、定着させる。</li> <li>○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章（新聞等）を読み、分からない言葉や漢字は調べる習慣を身につける。辞書を引くことをおっくうに考えないようにする。</li> </ul>
------	--

評価方法	<p><b>【国語への関心・意欲・態度】</b> 授業中の様子、漢字テスト、課題の提出状況、定期テスト、発表</p> <p><b>【聞く・話す能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【書く能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【読む能力】</b> 定期テスト小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【言語事項】</b> 定期テスト、漢字テスト、小テスト、書写作品など</p>
------	---

教科	国語	科目	国語	学年	3	類型	
単位数	3	教科書	東京書籍 新編新しい国語3				
副教材	増補版国語便覧熊本県版、基礎の学習3、常用漢字ダブルクリア、中3徹底演習テキスト国語						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し、伝え合う力を高める。</li> <li>・思考力や創造力を養い言語感覚を豊かにする。</li> <li>・国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	生命は 二つのアザミ 俳句の読み方、味わい方 俳句を作って句会を開こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の意味や効果的な表現を捉え、読み方を工夫して音読する。</li> <li>・表現の工夫に注意して、筆者の考えを捉える。</li> <li>・表現の工夫に着目して、俳句を読み味わう。</li> <li>・俳句のよさを評価してまとめる。</li> <li>・俳句を作って互いに読み合い、作品のよさを評価する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	和語・漢語・外来語 間違えやすい敬語 形 百科事典少女 評価しながら聞こう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和語・漢語・外来語の特徴について理解する。</li> <li>・間違えやすい敬語に注意し、正しい敬語の使い方を理解する。</li> <li>・場面や登場人物の設定の仕方を捉えて、作品を読み味わう。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	連語・慣用句 熟語の構成・熟字訓 絶滅の意味	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場面の展開や表現の仕方に注目し、作品を評価する。</li> <li>・様々な観点から評価しながら聞き、自分の考えや表現に生かす。</li> <li>・連語や慣用句について理解する。</li> <li>・熟語の構成や熟字訓について理解する。</li> <li>・論理の進め方に着目して、筆者の主張を捉える。</li> <li>・人間社会と自然との関わりについて考え、自分の意見を持つ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	論理的に読む 素材を生かして表現する 編集して伝えよう 「環境」のミニ雑誌 四字熟語 送り仮名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文と文、段落と段落などの関係を考えながら、文章を論理的に読む。</li> <li>・体験と知識を、表現の素材として生かす。</li> <li>・知識や体験をもとに、構成を工夫し、内容を膨らませて文章を書く。</li> <li>・書いた文章を読み返し、推敲して誌面を仕上げる。</li> <li>・四字熟語の構成について理解し、さまざまな四字熟語を知る。</li> <li>・送り仮名について理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	黄金の扇風機 サハラ砂漠の茶会 比較する 観察・分析して論じよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文章を読み比べて、論の進め方や表現について評価する。</li> <li>・文章を読み比べて、文章の内容について自分の考えを持つ。</li> <li>・比較することを通して、物事を深く理解する。</li> <li>・批評の対象について観察・分析したり、比較したりして、自分なりの判断を下す。</li> <li>・論の進め方を工夫し、資料を参考にしたり引用したりして、説得力のある批評文を書く。</li> <li>・書いた批評文を読み合って評価し、ものの見方や考え方を深める。</li> <li>・目的や相手に応じて必要な情報を判断し、分かりやすく説明する。</li> <li>・体験や知識を整理し、目的や相手、時間を意識して、話す内容や話し方を考える。</li> <li>・敬語を適切に使い、場の状況や相手に応じた話し方をする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	目的や相手に応じて説明する 場面に応じて話そう		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	曖昧な文・分かりづらい文		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<p>送り仮名 初恋 万葉・古今・新古今</p> <p>おくのほそ道</p> <p>論語</p> <p>言葉の移り変わり 文法のまとめ 故郷</p> <p>人間どうしの関係に着目する 紛らわしい漢字 何のために「働く」のか</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曖昧な文や分かりづらい文になる原因を理解し、言葉遣いの感覚を磨く。</li> <li>・送り仮名の付け方について理解する。</li> <li>・表現の特徴を捉え、リズムを感じ取りながら朗読する。</li> <li>・和歌が詠まれた背景や作者の心情を想像しながら、和歌の世界に親しむ。</li> <li>・和歌の意味や使われている技法に注意して、鑑賞文をまとめる。</li> <li>・当時の状況や作者の思いを捉え、古典の世界に親しむ。</li> <li>・構成や表現の特徴とその効果について考える。</li> <li>・古人の言葉を読み味わい、自分の文章に生かす。</li> <li>・古人の言葉を引用し、自分の考えを書く。</li> <li>・言葉の変化について理解する。</li> <li>・文法的な性質の異なる後の見分け方を通して、文法の復習をする。</li> <li>・場面の展開と人間関係の変化を捉えて、作品を読み深める。</li> <li>・作品を読んで、社会の中で生きる人間について考え、自分の意見を持つ。</li> <li>・人物の特徴や、人物どうしの関係の変化を捉える。</li> <li>・形や音の似た、紛らわしい漢字に注意する。</li> <li>・読んだ本を振り返り、これからの読書生活への展望を持つ。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
<p>3 学 期</p> <p>いつものように新聞が届いた 合意を形成する 話し合いで問題を解決しよう</p> <p>今の思いをまとめよう</p> <p>間違えやすい言葉 レモン哀歌 生ましめんかな 最後の一句</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報の意義とメディアの役割について考えを深める。</li> <li>・対立する意見について、合意の形成を目指して考えをまとめる。</li> <li>・話し合いが効果的に展開するように、進行の仕方を工夫する。</li> <li>・問題の解決に向けて、お互いの考えを生かし合う。</li> <li>・中学校生活を振り返ったり将来を展望したりして、思いを手紙にまとめる。</li> <li>・下書きした手紙を読み返し、文章を整えて清書する。</li> <li>・読み間違えたり書き間違えたりしやすい言葉に注意する。</li> <li>・効果的な言葉の使い方について注意して詩を読む。</li> <li>・詩に描かれた生と死について考え、感想を持つ。</li> <li>・文学作品を読み、人間や社会について考える。</li> </ul>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

<p>学習方法</p>	<p><b>【授業の進め方やポイント】</b> ○教科書をよく読んで内容の理解に努める。○音読に積極的に取り組む。○授業ノートはただ板書を写すだけではなく、疑問や考えなどを積極的に記入する。○配られたプリントはフラットファイルに綴じ、整理すると共に自分の考えを記入する。○文章の内容を自分の問題として考え、自分の意見や考えを持つようにする。自分の考えを述べる発言で表現力を伸ばす。○感想や疑問をしっかりと出し合い、他者の発言に耳を傾ける。そして、自分との共通点や相違点を理解し、考えを深める。</p> <p><b>【家庭学習の進め方やポイント】</b> ○新しい単元の前に、新出漢字と語句の確認をする。(「基礎の学習3」の利用、辞書の活用) ○授業の後は授業ノートやプリントを見直すなどの復習をする。(「基礎の学習3」の活用) ○出された課題や宿題は必ずする。○漢字テストで満点が取れるように、毎日の漢字練習を続ける。○習った漢字や語句は何度も練習し、定着させる。○自分の使える言葉や漢字を増やすために、ふだんから沢山の文章(新聞等)を読み、分からない言葉や漢字は調べる習慣を身につける。辞書を引くことをおっくうに考えないようにする。</p>
-------------	---

<p>評価方法</p>	<p><b>【国語への関心・意欲・態度】</b> 授業中の様子、漢字テスト、課題の提出状況、定期テスト、発表</p> <p><b>【聞く・話す能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p><b>【書く能力】</b> 定期テスト、小テスト、授業時の課題の状況など</p>
-------------	---

	<p>【読む能力】 定期テスト小テスト、授業時の課題の状況など</p> <p>【言語事項】 定期テスト、漢字テスト、小テスト、書写作品など</p>
--	---

教科	社会	科目	社会	学年	1	類型	
単位数	3	教科書	中学社会 歴史（教育出版） 中学生の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）				
副教材	みつけよう？と！歴史資料（とうほう） 社会の自主学習 歴史1（新学社） ウィニング歴史I 社会の自主学習 地理世界（新学社） ウィニング地理I						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達記評 A B C
1 学 期	<b>【地理的分野】</b> 第1章 私たちの地球と世界の地域構成	・地球儀や世界地図を活用し、緯度と経度、大陸と海洋の分布、主な国の名称と位置、地域区分について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第2章 人々の生活と環境	・大まかな世界地図が描けるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	<b>【歴史的分野】</b> 第1章 歴史の移り変わりを考えよう	・世界各地における人々の生活の様子について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	第2章 原始・古代の日本と世界	・歴史を学ぶ意義を高め、年代の表し方や時代区分について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1 人類の出現と文明のおこり	・世界の古代文明や宗教のおこり、日本列島における農耕の広まりと生活の変化について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2 日本の成り立ちと倭の王権	・大和朝廷による統一と東アジアとのかかわりについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3 大帝国の出現と律令国家の形成	・律令国家の確立にいたるまでの過程について、聖徳太子の政治、大化の改新などを通して理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4 貴族社会の発展	・摂関政治や国風文化の発達について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>	
2 学 期	<b>【地理的分野】</b> 第3章 世界の諸地域	・人口が急増し、多様な民族・文化が存在することを通してアジアの地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1 アジアの多様性と経済発展	・EUの発展と地域間格差を通してヨーロッパの地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2 アフリカの人々の暮らしとその変化	・モノカルチャー経済下における人々の生活を通してアフリカの地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3 統合を強めるヨーロッパの国々	大規模農業と工業の発展を通して北アメリカの地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4 世界に大きな影響力をもつ北アメリカ		
	<b>【歴史的分野】</b> 第3章 中世の日本と世界	・武士が台頭して武家政権が成立し、その支配が次第に全国に広まるとともに、東アジア世界との密接な関わりがあったことについて理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1 世界の動きと武家政治のはじまり	・元寇、南北朝の動乱、応仁の乱などを通して、幕府支配の動揺を捉え、各地に戦乱が広まる中で地方武士が力を強めたことを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 ゆれ動く武家政治と社会			
3 学 期	<b>【地理的分野】</b> 第3章 世界の諸地域	・森林破壊と環境保全を通して南アメリカの地域的特色を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	5 南アメリカの開発と環	・アジア諸国との結びつきを通してオセアニアの地域的	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

境	特色を理解する。	
6 他地域と結びつくオセアニア	・世界の地理的認識を深め、世界の様々な地域または国の調査を行う際の視点や方法を身に付ける。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
第4章 世界のさまざまな地域の調査	・戦国の動乱、ヨーロッパ人の来航とその背景について新航路の開拓や宗教改革とのかかわりを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
【歴史的分野】	・織田信長と豊臣秀吉の統一事業について理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
第4章 近世の日本と世界	・江戸幕府の成立と大名統制について、幕府が大名を統制するとともに、その領内の政治の責任を大名に負わせたことに気付く。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
1 結びつく世界との出会い		
2 天下統一への歩み	・鎖国下の対外関係について、長崎、対馬、薩摩、蝦夷地	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 幕藩体制の確立と鎖国	を通じてオランダ、中国、朝鮮、琉球王国、アイヌ民族との交易がおこなわれたことを理解する。	

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	日頃から新聞やニュースを見ておいてください。授業はプリントを中心に授業を進めていきます。ノートに貼って整理してください。板書を写すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。副教材の問題集を週末の宿題として出します。
------	---

評価方法	<p>①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③資料活用の技能…年表や歴史、地図など様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用することができる。</p> <p>④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
------	---

教科	社会	科目	社会	学年	2	類型	
単位数	3	教科書	中学社会 歴史（教育出版） 中学生の地理（帝国書院） 中学校社会科地図（帝国書院）				
副教材	新訂資料カラー歴史（浜島書店）社会の自主学习 歴史2・3（新学社）ウィニング歴史Ⅱ 社会の自主学习 地理日本（新学社）ウィニング地理Ⅱ						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達記評 A B C
1 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第4章 近世の日本と世界</p> <p>4 経済の成長と幕政の改革</p> <p>第5章 近代の幕開け</p> <p>1 近代世界の確立とアジア</p> <p>【地理的分野】</p> <p>第2編 日本のさまざまな地域</p> <p>第1章 日本の地域構成</p> <p>第2章 世界から見た日本のすがた</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを通して町人文化が都市を中心に形成されたことや各地方の生活文化が生まれたことを理解する。</li> <li>享保の改革、寛政の改革の内容と幕府政治の行き詰まりについて理解する。</li> <li>欧米諸国における市民革命や産業革命、アジア諸国の動きなどを通して欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解する。</li> <li>地球儀や地図を活用し、我が国の国土の位置、世界各地との時差、領域の特色と変化、時代区分などを通して日本の地域構成について理解する。</li> <li>世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を理解する。</li> </ul>	<p>□ □ □</p>
2 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第5章 近代の幕開け</p> <p>2 開国と幕府政治の終わり</p> <p>第6章 近代の日本と世界</p> <p>1 明治維新と立憲国家への歩み</p> <p>【地理的分野】</p> <p>第3章 日本の諸地域</p> <p>1 九州地方</p> <p>2 中国・四国地方</p> <p>3 近畿地方</p> <p>4 中部地方</p> <p>5 関東地方</p> <p>6 東北地方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>欧米諸国のアジア進出と関連づけて日本の開国とその影響について考察する。</li> <li>明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。</li> <li>自由民権運動、大日本帝国憲法の制定を通して立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。</li> <li>九州地方について、環境問題や環境保全を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する</li> <li>中国・四国地方について、人口や都市・村落を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。</li> <li>近畿地方について、歴史的背景を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。</li> <li>中部地方について、産業を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。</li> <li>関東地方について、他地域との結びつきを中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。</li> <li>東北地方について、生活・文化を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。</li> </ul>	<p>□ □ □</p>
3 学期	<p>【歴史的分野】</p> <p>第6章 近代の日本と世界</p> <p>2 激動する東アジアと日清・日露戦争</p> <p>3 近代の産業と文化の発</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大陸と我が国との関係に着目して日清・日露戦争の背景やその後の影響などを理解する。</li> <li>我が国でも産業革命がおこり近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解する。</li> </ul>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

展	<b>【地理的分野】</b> 第3章 日本の諸地域 7 北海道地方 第4章 身近な地域の調査	・北海道地方について、自然環境を中核とした考察の仕方をもとに地域的特色を理解する。  ・身近な地域の調査について、地域的特色や地域の課題とともに、身近な地域の調査を行う際の視点や方法、地理的なまとめ方や発表の方法を理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
---	---	--	--

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	日頃から新聞やニュースを見ておいてください。授業はプリントを中心に授業を進めていきます。ノートに貼って整理してください。板書を移すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。副教材の問題集を週末の宿題として出します。
------	---

評価方法	①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。 ②思考・判断・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。 ③資料活用の技能…年表や歴史、地図など様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用することができる。 ④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。 以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。
------	--

教科	社会	科目	社会	学年	3	類型	
単位数	4	教科書	中学社会 歴史 (教育出版) 中学校 公民 (教育出版)				
副教材	新訂資料カラー歴史 (浜島書店) 新しい公民 (浜島書店) 社会の自主学習2・3 (新学社) ウィニング3年						

学習目標	我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価			
			A	B	C	
1 学 期	【歴史的分野】 第7章 二度の世界大戦と日本 1 第一次世界大戦と民族独立の動き 2 大正デモクラシー 3 恐慌から戦争へ 4 第二次世界大戦と日本の敗戦 第8章 現代の日本と世界 1 日本の民主化と冷戦 2 世界の多極化と日本 3 冷戦の終結とこれからの日本	・第一次世界大戦の背景や戦いの様子、大戦後の世界の動きについて関連づけながら理解する。 ・大正時代の特色について、政治・社会・文化を関連づけながら理解する。 ・第二次世界大戦を引き起こした要因について、世界恐慌による世界経済の悪化と各国の社会の混乱、それともなう政治体制の変化を関連づけながら理解する。 ・第二次世界大戦のあらましについて、日本と世界の動きを関連づけながら理解する。 ・世界の動きのなかで新しい日本の建設が進められたことを理解する。 ・1960～70年代の世界と日本の動きについてとらえ、我が国の経済や科学技術が急速に発展して国民の生活が向上したことを理解する。 ・冷戦終結後の世界や日本の動きと関連づけながら、国際社会において日本の役割が大きくなってきたことや、環境・人権・平和などをめぐる様々な課題が残されていることを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	【公民的分野】 第1章 私たちの暮らしと現代社会 1 わたしたちが生きる現代社会 2 現代につながる伝統と文化	・現代日本の特色としてグローバル化、情報化、少子高齢化などがあることを理解する。 ・日本と世界との結びつきが強まる中で、情報化の進展が果たしている役割を理解し、自分たちが情報を伝え合うことや、世界とつながることの意味を考察する。 ・日本の科学技術の発展と、社会の変化や自分たちの暮らしとの関わりについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 学 期	【公民的分野】 第1章 私たちの暮らしと現代社会 3 わたしたちがつくる社会 第2章 人間を尊重する日本国憲法 1 民主主義と日本の政治 2 憲法が保障する基本的人権 3 わたしたちの平和主義	・人間は社会的な存在であり、よりよい社会生活を営んでいくためにはきまりや取り決めが必要であること理解する。 ・立憲主義の憲法が「人権の保障」と「権力の分立」の二つの内容で構成されていることや、「法の構成」図の内容を正しく理解する。 ・人間の尊重についての考え方、法の意義と法に基づく政治の大切さ、日本国憲法が基本的人権の尊重、国民主権及び平和主義を基本原理としていること、天皇の地位と天皇の国事に関する行為について理解する。 ・人間尊重の考え方を基本的人権を中心に深め、法の意義と法に基づく政治の大切さについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
				<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	第3章 わたしたちの暮らしと民主主義 1 民主主義の日本の政治 2 司法権の独立と裁判 3 地方自治と住民の参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本が国際紛争解決の手段としての戦争を放棄し、陸海空軍その他の戦力を保持しないことを決意したことについて理解する。</li> <li>・国会は、国権の最高機関であり、国の唯一の立法機関であることや、内閣については、日本が議員内閣制を採用していることについて理解する。</li> </ul>	□ □ □ □ □ □
	第4章 わたしたちの暮らしと経済 1 消費生活と市場経済 2 生産のしくみと企業・金融 3 財政と政府の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・法に基づく公正な裁判によって国民の権利が守られ、社会の秩序が維持されていることを理解する。</li> <li>・地方自治は、住民参加による住民自治が基本であることを理解する。</li> <li>・経済活動の意義が人間の生活の向上にあり、経済は生活のための手段にほかならないことを理解する。</li> <li>・生産は企業を中心に行われていること金融には家計の貯蓄などを企業の生産活動や人々の生活資金などとして円滑に循環させるはたらきがあることを理解する。</li> <li>・経済の成長と安定の意味や経済の安定のために国や中央銀行が行っている経済政策について理解する。</li> </ul>	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □
3 学 期	第5章 安心して暮らせる社会 1 労働と社会保障 2 これからの日本経済の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本国憲法第 25 条の精神に基づく社会保障制度の基本的な内容を理解する。</li> <li>・個人の生活や産業の発展に伴う公害など環境汚染や自然破壊の問題について理解する。</li> <li>・環境を保全し、積極的に人間環境の改善を図るようにすることの重要性を理解する。</li> </ul>	□ □ □ □ □ □ □ □ □
	第6章 国際社会に生きる私たち 1 国際社会が抱える課題 2 国際社会を支えるしくみ 3 持続可能な社会の実現に向けて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国際政治は、国際協調の観点にもとづいて国家間の対立の克服を試みるものであることを理解する。</li> <li>・すべての国家の主権が相互に尊重されなければならないことを理解する。</li> <li>・グローバル化が進む国際社会の中で、国家間の格差が進み、「人間の安全保障」という考え方が広がってきた現状をとらえ、国際的な協力関係の必要性が強まってきていることを理解する。</li> <li>・世代間の公平、地域間の公平、環境の保全と回復、公正で平和な社会などが持続可能な社会形成への基礎となることを理解する。</li> </ul>	□ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	日頃から新聞やニュースを見ておいてください。授業はプリントを中心に授業を進めていきます。ノートに貼って整理してください。板書を写すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。副教材の問題集を週末の宿題として出します。
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。</p> <p>②思考・判断・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③資料活用の技能…年表や歴史、地図など様々な資料を収集し、必要な情報を適切に選択し活用することができる。</p> <p>④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査</p>
------	--

	の得点などをもとにして総合的に評価する。
--	----------------------

教科	数学	科目	数学	学年	1	類型	
単位数	5	教科書	数研出版 改訂版 中学校 数学1 数研出版 改訂版 中学校 数学2				
副教材	数研出版 体系数学1 数研出版 体系数学1 数研出版 体系問題集 数研出版 体系問題集	代数編 幾何編 数学1 代数編 標準 数学1 幾何編 標準					

学習目標	<p>年間を通して、以下の能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○正・負の数や文字式の計算、一次方程式・不等式の解き方を理解しそれらを用いる能力</li> <li>○比例・反比例、一次関数の理解を深め、関数関係を見だし活用する能力</li> <li>○既習の数学を基にして、数や図形の性質を見だし活用する能力</li> <li>○目的に応じて資料を整理・活用する能力</li> <li>○平面図形や空間図形を論理的に考察し表現できる能力</li> <li>○将来の八代高校生として、大学入試に対応できる能力（→応用問題で扱う）</li> </ul>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標	到達自己評価			
		(完全に理解すべき事項)	A	B	C	
1 学 期	第1章 正の数と負の数	<b>【体系数学1 代数編】</b> ○負の数の意味を理解し、その必要性和有用性を知る。 ○正の数・負の数の四則について理解し、それらの計算ができる。 ○数の概念について理解を深める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	1 正の数と負の数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 加法と減法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3 乗法と除法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4 四則の混じった計算	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	第2章 式の計算	○文字を使って、数量や計算法則を式にしたりして、文字式の意味について理解する。 ○文字式の表し方を理解し、式をつくったり、表された式の意味を読み取ったりことができる。 ○簡単な単項式、多項式での加法、減法の計算ができる。 ○簡単な多項式に数をかけることやわることができる。 ○単項式どうしの乗法、除法の計算ができる。 ○文字に値を代入して式の値を求めることができる。 ○式を用いて整数の性質を説明したり、規則的に変化する量を、文字式を用いて表したりすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	1 文字式		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 多項式の計算		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3 単項式の乗法と除法		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4 文字式の利用		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	第3章 方程式		○一元一次方程式の解法を理解し、その解法に習熟する。 ○方程式を利用して問題解決ができる。 ○2つの文字を含む等式から文字の値が求められることを知る。 ○連立方程式とその解の意味を理解する。また、その解法を理解し、習熟する。 ○連立方程式を問題解決に利用することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1 方程式とその解			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 1次方程式の解き方	<input type="checkbox"/>			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3 1次方程式の利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
4 連立方程式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>		
5 連立方程式の利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			
2 学 期	第4章 不等式	○数量の間の関係を不等式に表し、不等式とその解の意味を理解する。 ○一次不等式の解法を理解し、その解法に習熟する。 ○不等式を利用して問題解決ができる。 ○連立不等式とその解の意味を理解する。また、その解法を理解し、習熟する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	1 不等式の性質		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 不等式の解き方		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	3 不等式の利用		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	4 連立不等式	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
	第5章 1次関数	○関数の意味や用語を理解し、使えることができる。 ○比例の意味を理解し、式、グラフの特徴を理解する。 ○反比例の意味を理解し、式、グラフの特徴を理解する。 ○比例、反比例の見方や考え方を、具体的な事象の考察に活用できる。 ○1次関数の意味とその特徴を理解する。 ○直線が与えられているとき、その式が求められる。 ○1次関数のグラフと2元1次方程式のグラフとの関係や連立方程式の解とグラフとの関係を明らかにする。 ○具体的な事象を1次関数と見なし、それを問題解決に利用することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	1 変化と関数		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
	2 比例とそのグラフ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	
3 反比例とそのグラフ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
4 比例・反比例の利用	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
5 1次関数のそのグラフ	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
6 1次関数と方程式	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>		
7 1次関数の利用	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>			

	<p>第6章 資料の整理と活用</p> <p>1 資料の整理</p> <p>2 代表と散らばり</p> <p>3 近似値と誤差</p>	<p>○ヒストグラムや代表値の必要性和意味を知る。</p> <p>○ヒストグラムや代表値を用いて、資料の傾向を読み取ることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>第1章 平面図形</p> <p>1 平面図形の基礎</p> <p>2 対称な図形</p> <p>3 図形の移動</p> <p>4 作図</p> <p>5 面積と長さ</p>	<p>【体系数学1 幾何編】</p> <p>○直線、線分、角の意味や表し方を理解する。</p> <p>○線対称、点対称な図形の意味とそれらの性質について理解する。</p> <p>○平行移動、対称移動、回転移動の意味とそれらの性質について理解する。</p> <p>○基本的な作図のしかたについて理解する。</p> <p>○三角形や四角形面積の求め方を確認する。</p> <p>○中心角と弧の関係について理解し、おうぎ形の弧の長さや面積を求めることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
3 学 期	<p>第2章 空間図形</p> <p>1 いろいろな立体</p> <p>2 空間における平面と直線</p> <p>3 立体のいろいろな見方</p> <p>4 立体の表面積と体積</p>	<p>○柱体や錐体、多面体について、その性質を理解する。</p> <p>○空間における平面や直線の位置関係を理解する。</p> <p>○平面図形や直線が動いたときにできる立体とその性質について理解する。</p> <p>○立体の投影図や展開図について理解し、立体についての見方を深める。</p> <p>○柱体や錐体の表面積や体積とその求め方について理解する。</p> <p>○球の表面積と体積を理解し、求めることができる。</p>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>第3章 図形の性質と合同</p> <p>1 平行線と角</p> <p>2 三角形の合同</p> <p>3 証明</p>	<p>○対頂角の性質、平行線と角の関係について調べる。</p> <p>○三角形の内角の和について調べ、それらをもとに多角形の角について調べる。</p> <p>○合同な図形の性質、三角形の合同条件などを明らかにする。</p> <p>○「証明」することの意義としくみについて理解する。</p> <p>○平行線と角の関係や三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方や図形の性質の調べ方について理解する。</p>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>
	<p>第4章 三角形と四角形</p> <p>1 三角形</p> <p>2 四角形</p>	<p>○三角形の合同条件を使って、図形の性質の調べ方を理解する</p> <p>○直角三角形の合同条件を導き、その使い方を理解する。</p> <p>○平行四辺形の性質や平行四辺形になる条件、他の四角形の性質、平行線による等積変形などについて理解する。</p>	<p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p> <p><input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/></p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>まず予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートの余白部分に書きます。復習として毎日担当者から課される日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。</p>
------	--

評価方法	<p>【関心・意欲・態度】【見方考え方】【数学的な技能】【知識・理解】の4つ観点について評価を行う。中間テスト・期末テスト・実力テスト・単元テスト・提出物・出席状況・日頃の授業態度などで、総合的に評価を行う。</p>
------	--

教科	数学	科目	数学	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	数研出版 改訂版 中学校 数学2 数研出版 改訂版 中学校 数学3				
副教材	数研出版 体系数学1 数研出版 体系問題集 数研出版 体系数学2 数研出版 体系問題集 数研出版 体系数学2 数研出版 体系問題集	幾何編 数学1 幾何編 標準 代数編 数学2 代数編 標準 幾何編 数学2 幾何編 標準					

学習目標	<p>年間を通して、以下の能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○平面図形や空間図形を論理的に考察し表現できる能力</li> <li>○一次関数を理解し、関数関係を見いだし考察し表現する能力</li> <li>○平面図形の性質について活動を通して理解を深め、性質を論理的に考察し表現する能力</li> <li>○不確定な事象を調べ、確率や標本調査について理解し用いる能力</li> <li>○式の展開や、因数分解について理解し用いる能力</li> <li>○二次方程式を理解し活用する能力</li> <li>○既習の数学を基にして、数や図形の性質を見いだし活用する能力</li> <li>○将来の八代高校生として、大学入試に対応できる能力 (→応用問題で扱う)</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	<b>【体系数学1 幾何編】</b> 第3章 図形の性質と合同 3 証明  第4章 三角形と四角形 1 三角形 2 四角形	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「証明」することの意義としくみについて理解する。</li> <li>○平行線と角の関係や三角形の合同条件を根拠にした証明の進め方や図形の性質の調べ方について理解する。</li> <li>○三角形の合同条件を使って、図形の性質の調べ方を理解する</li> <li>○直角三角形の合同条件を導き、その使い方を理解する。</li> <li>○平行四辺形の性質や平行四辺形になる条件、他の四角形の性質、平行線による等積変形などについて理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<b>【体系数学2 代数編】</b> 第1章 式の計算 1 多項式の計算 2 因数分解 3 式の計算の利用 第2章 平方根 1 平方根 2 根号を含む式の計算 3 有理数と無理数  第3章 2次方程式 1 2次方程式の解き方 2 2次方程式の応用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○多項式と単項式の乗除について理解する。</li> <li>○乗法公式を用いて、一次式の積の展開ができるようにする。</li> <li>○数の素因数分解の意味と多項式を因数分解することの意味を理解し、因数分解ができるようにする。</li> <li>○新しい数の必要性和意味を理解し、概念をひろめる。</li> <li>○数の平方根の意味を理解し、電卓などを用いてその近似値を求めることができるようにする。</li> <li>○数の平方根の中には、限りなく続く小数でしか表せない数があることを知り、理解を深める。</li> <li>○2次方程式の必要性和その解の意味を理解する。</li> <li>○因数分解や解の公式を用いて2次方程式を解くことができるようにする。</li> <li>○2次方程式を問題解決に利用することができるようにする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	第4章 関数 $y=ax^2$ 1 関数 $y=ax^2$ 2 関数 $y=ax^2$ のグラフ 3 関数 $y=ax^2$ の値の変化 4 関数 $y=ax^2$ の応用 5 いろいろな関数  第5章 確率と標本調査 1 場合の数	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自然現象の中には、関数 <math>y=ax^2</math>としてとらえられるものがあることを知る。</li> <li>○関数 <math>y=ax^2</math>について、そのグラフの特徴を理解する。</li> <li>○関数 <math>y=ax^2</math>の値の変化の割合を調べ、1次関数との違いを明らかにする。</li> <li>○身のまわりに、関数 <math>y=ax^2</math>と関わりの深い事象があることを知る。</li> <li>○表や樹形図、計算を利用して、起こりうる場合の数を求めることができるようにする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	2 確率の計算 3 標本調査  <b>【体系数学2 幾何編】</b> 第1章 図形と相似 1 相似な図形 2 三角形の相似条件 3 平行線と線分の比  4 中点連結定理 5 相似な図形の面積比、体積比	○起こりうる場合や起こらない確率を求めることができるようにする。 ○標本調査の必要性和意味を理解し、簡単な場合について標本調査を行い、母集団の傾向をとらえ説明することができるようにする。  ○図形の相似の意味と相似な図形の性質を理解する。 ○三角形の相似条件を知り、それを使って図形の性質を証明することができるようにする。 ○平行線と線分の比についての性質を見だし、これを活用することができるようにする。 ○中点連結定理を理解する。 ○相似な図形の比から、面積比、体積比を求めることができるようにする。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学 期	第2章 線分の比と計量 1 三角形の重心 2 線分比と面積比  3 チェバの定理 4 メネラウスの定理 第3章 円 1 外心と垂心 2 円周角  3 円に内接する四角形 4 円の接線 5 接線と弦のつくる角  6 方べきの定理 7 2つの円 第4章 三平方の定理 1 三平方の定理 2 三平方の定理と平面図形 3 三平方の定理と空間図形	○三角形の重心に関する性質を理解する。 ○定理を利用して線分や面積比を求めることができるようにする。 ○チェバの定理、メネラウスの定理を理解する。  ○三角形の外心と垂心に関する性質を理解する。 ○定理を利用して円周角に関する角度を求めることができるようにする。 ○円に内接する四角形に関する性質を理解する。 ○円の接線に関する性質を理解する。 ○定理を利用して、円に関する角度を求めることができるようにする。 ○方べきの定理の意味を理解する。 ○2つの円に関する性質を理解する。  ○直角三角形の3辺の関係を具体的な観察や操作を通して調べ、三平方の定理を見いだす。 ○三平方の定理が証明できることを理解する。 ○三平方の定理の意味を理解する。 ○三平方の定理をいろいろな場面で活用しようとする態度を育て、活用できる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>  <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	まず予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートの余白部分に書きます。復習として毎日担当者から課される日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。
------	---

評価方法	<b>【関心・意欲・態度】【見方考え方】【数学的な技能】【知識・理解】</b> の4つ観点について評価を行う。中間テスト・期末テスト・実力テスト・単元テスト・提出物・出席状況・日頃の授業態度などで、総合的に評価を行う。
------	---

教科	数学	科目	数学	学年	3	類型	
単位数	5	教科書	啓林館 数学 I 改訂版				
副教材	数研出版 体系数学2 幾何編 数研出版 体系問題集 数学2 幾何編 標準 啓林館 問題集 アドバンス 数学I+A						

学習目標	年間を通して、以下の能力を養う。 ○既習の数学を基にして、数や図形の性質を見だし活用する能力 ○三角比について理解し、図形について見直しをもって論理的に考察し表現する能力 ○母集団から標本を取り出し、その傾向を調べることで、母集団の傾向を読み取る能力 ○既習の数学を基にして、数や図形の性質を進んで見だし活用する能力 ○将来の八代高校生として、大学入試に対応できる能力（→応用問題で扱う）
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	<b>【体系数学2 幾何編】</b> 第4章 三平方の定理 3 三平方の定理と空間図形  <b>【高等学校 数学I】</b> 第1章 数と式 1 式の計算 2 実数 3 1次不等式 4 集合と命題	○三平方の定理をいろいろな場面で活用しようとする態度を育て、活用できる。  ○演算の基本的な性質を理解する。 ○実数の性質を知り、その計算に習熟する。 ○数を拡張することの良さを知り、積極的に活用する。 ○数量の範囲を求めることの良さを知り、積極的に活用する。 ○絶対値の処理に慣れ、絶対値を含む方程式や不等式において、積極的に活用する。 ○集合の表し方、部分集合、補集合などについて基本的な考え方を理解する。 ○命題とその真偽について学び、命題の真理集合や反例の考え方について理解する。 ○逆・裏・対偶とそれらの相互関係について理解する。	□ □ □  □
	第2章 2次関数 1 2次関数のグラフ 2 2次関数の値の変化 3 2次方程式と2次不等式  第3章 図形と計量 1 三角比 2 三角形への応用	○2次関数についての理解を深め、それを活用できるようにする。 ○2次関数とそのグラフに関心を持つとともに、関数を用いることの良さがわかる。 ○表、式、グラフを関連づけながら変化の様子をとらえることができる。 ○関数を用いて数量の変化を表現し、値の変化を調べることができる。 ○2次関数とそのグラフ及び値の変化について理解し、基本的な知識を身につける。 ○2次関数を利用して、2次不等式の解き方とその解の意味について理解する。 ○2次不等式を問題解決に利用することができるようにする。  ○図形の計量の基本的な性質について理解し、考え方の有用性を認識し、具体的に考察できる。 ○三角形と計量に関心を持ちその良さがわかるとともに、具体的な事象に活用できる。 ○三角比の考え方をを用いて、図形の計量を行う過程を考察することができる。 ○具体的な事象の数量の関係を、三角比などを用いて表現し、計量ができる。 ○三角比や正弦・余弦定理の意味について理解し、基本的な知識を身につける。	□ □ □ □ □ □

3 学 期	第4章 データの分析	○統計の基本的な考えを理解するとともに、それを用いてデータを整理・分析し傾向を把握できる。 ○身近な統計の代表値について定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ○範囲の定義やその意味を理解し、データの散らばりを比較することができる。 ○分散や標準偏差、相関係数の定義とその意味を理解し、それらを求めることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
-------------	------------	---	--

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	まず予習として、練習や例題を解いて授業に臨みます。授業では、内容を理解することを重視し、ただ板書を写すことにならないよう気をつけます。具体的には、予習で理解が十分でなかったところや別解などをノートの余白部分に書きます。復習として毎日担当者から課される日々の演習を行います。また、週末には課題を解きます。加えて、定期考査以外にも小テストを行って、到達状況を確認します。
------	---

評価方法	【関心・意欲・態度】【見方考え方】【数学的な技能】【知識・理解】の4つ観点について評価を行う。中間テスト・期末テスト・実力テスト・単元テスト・提出物・出席状況・日頃の授業態度などで、総合的に評価を行う。
------	---

教科	理科	科目	理科	学年	1	類型	
単位数	3	教科書	未来へひろがるサイエンス1 (啓林館)				
副教材	県版 理科問題集 (暁) 理科ノート (新学社) 観点別評価プリント (新学社) 理科資料集 (暁) ウイニング						

学習目標	自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	植物のくらしとなかま 花という「いきもの」 1章 花のつくりとはたらしき 2章 水や栄養分を運ぶしくみ 3章 栄養分をつくるしくみ 4章 植物のなかま分け 世界最大の花・世界最小の花	1 花のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、花のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを花の働きと関連付けてとらえることができる。 2 葉、茎、根のつくりの観察を行い、その観察記録に基づいて、葉、茎、根のつくりの基本的な特徴を見いだすとともに、それらを光合成、呼吸、蒸散と関連付けてとらえることができる。 3 花や葉、根、茎の観察記録に基づいて、それらを相互に関連付けて観察し、植物が体のつくりの特徴に基づいて分類できることを見いだすとともに、植物の種類を知る方法を身に付ける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	身のまわりの物質 窓に利用されるもの 1章 いろいろな物質とその性質 2章 いろいろな気体とその性質	1 身の周りの物質の性質を様々な方法で調べ、物質には密度や加熱したときの変化など固有の性質と共通の性質があることを見いだすとともに、実験器具の操作、記録の仕方などの技能を身に付ける。 2 気体を発生させてその性質を調べる実験を行い、気体の種類による特性を見いだすとともに、気体を発生させる方法や捕集法などの技能を身につける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	3章 水溶液の性質 4章 物質のすがたとその変化 海水から真水をつくる	3 物質が水に溶ける様子の観察を行い、水溶液の中では溶質が均一に分散していることを見いだすこと。 4 水溶液から溶質を取り出す実験を行い、その結果を溶解度と関連付けてとらえる。 5 物質の状態変化についての観察、実験を行い、状態変化によって物質の体積は変化するが質量は変化しないことを見いだす。 6 物質の状態が変化するときの温度の測定を行い、物質は融点や沸点を境に状態が変化する事や沸点の違いによって物質の分離ができることを見いだす。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	光・音・力による現象 身のまわりには、どのようなしくみがかくされているのだろうか 1章 光による現象 2章 音による現象 3章 力による現象	1 光の反射や屈折の実験を行い、光が水やガラスなどの物質の境界面で反射、屈折するときの規則性を見いだすこと。 2 凸レンズの働きについての実験を行い、物体の位置と像の位置及び像の大きさの関係を見いだすこと。 3 音についての実験を行い、音はものが振動することによって生じ空気中などを伝わる事及び音の高さ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

	<p><b>【追】2力がつり合う条件</b></p> <p>光・音・力と科学技術</p>	<p>や大きさは発音体の振動の仕方に関係することを見いだす。</p> <p>4 物体に力を働かせる実験を行い、物体に力が働くとその物体が変形したり動き始めたり、運動の様子が変わったりすることを見いだすとともに、力は大きさと向きによって表されることを知る。</p> <p>5 圧力についての実験を行い、圧力は力の大きさと面積に関係があることを見いだすこと。また、大気圧の実験を行い、その結果を水や空気の重さと関連付けてとらえる。</p> <p>6 実験を通して、力がつり合うときの条件や力の合成と分解についてその規則性を理解する。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
<p>3 学 期</p>	<p>活きている地球 地球内部の謎にせまる 1章 大地がゆれる 2章 大地が火をふく</p> <p><b>【追】自然の恵みと火山災害・地震災害</b></p> <p>3章 大地は語る 堆積物から過去の津波にせまる</p>	<p>1 地震の体験や記録を基に、その揺れの大きさや伝わり方の規則性に気付くとともに、地震の原因を地球内部の働きと関連付けてとらえ、地震に伴う土地の変化の様子を理解する。</p> <p>2 火山の形、活動の様子を及びその噴出物を調べ、それらを地下のマグマの性質と関連付けてとらえるとともに、火山岩と深成岩の観察を行い、それらの組織の違いを成因と関連付けてとらえる。</p> <p>3 野外観察などを行い、観察記録を基に、地層の向き方を考察し、重なり方や広がり方についての規則性を見いだすとともに、地層とその中の化石を手掛かりとして過去の環境と地質年代を推定すること。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

<p>学習方法</p>	<p>授業は観察や実験を中心に授業を進めていきます。板書を写すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。授業終了後、副教材の問題集を使ってしっかり復習しておきましょう。</p>
-------------	--

<p>評価方法</p>	<p>①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。提出物を忘れずに提出することができている。</p> <p>②思考・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③技能…教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができている。正しく実験器具を使用することができている。</p> <p>④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
-------------	---

教科	理科	科目	理科	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	未来へひろがるサイエンス2 (啓林館)				
副教材	県版 理科問題集 (暁) 理科 Wプリント (新学社) 理科 理科ノート (新学社) 理科資料集 (暁) ウイニング						

学習目標	<p>科学に対する認識を高め、自らより深く調べようとする基礎を身につける。</p> <p>自然の事物・事象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・事象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学 期	<b>【単元1】</b> 化学変化と原子・分子	1 化学変化についての観察、実験を行い、実験技能を習得するとともに、レポートを作成することで、観察・実験の結果を分析して解釈し、わかりやすく表現することができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1章 物質の成り立ち	2 物質の変化やその量的な関係について理解させ、原子や分子のモデルと関連付けてみる見方や考え方ができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 物質を表す記号	3 物質を原子の記号や化学式で表し、化学変化を化学反応式で表すことができるようになる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3章 さまざまな化学変化	4 分解や化合、酸化や還元などの基本的な化学変化の学習を通じて、化学変化の不思議さや面白さを実感する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4章 化学変化と物質の質量	5 化学変化において質量が保存されること、互いに反応する物質の質量の間には一定の関係があることなどを見いだすことができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	学習のまとめ	6 化学変化によって熱が出入りすることを理解する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2 学 期	<b>【単元3】</b> 動物の生活と生物の進化	1 生物の組織などの観察を行い、生物の体が細胞からできていること及び植物と動物の細胞のつくりの特徴を見いだす。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	1章 生物の体と細胞	2 消化、呼吸及び血液循環や刺激に対する反応について、動物の体のつくりと働きとを関連付けて理解するとともに、その働きによって、動物の生命活動が維持していることを実感する。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	2章 生命を維持するはたらき	3 脊椎動物の体のつくりや子の生まれ方などの特徴を比較・整理し、脊椎動物が幾つかの仲間に分類できることを見いだす。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	3章 感覚と運動のしくみ	4 無脊椎動物の観察などを行い、それらの動物の特徴を見いだす。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	4章 動物のなかま	5 現存の生物及び化石の比較などを基に、現存の生物は過去の生物が変化して生じてきたものであることを体のつくりと関連付けてとらえることができる。	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
	5章 生物の移り変わり進化		
学習のまとめ			

	<p><b>【単元4】</b> 電流の性質とその利用</p> <p>1章 電流の性質</p> <p>2章 電流の正体</p>	<p>1 回路の電流や電圧を測定する実験を行い、回路の各点を流れる電流や各部に加わる電圧についての規則性を見いだすことができる。</p> <p>2 実験・観察を通して、電圧と電流の関係をグラフ化し、その規則性を見いだすとともに、金属線には電気抵抗があることを理解する。</p> <p>3 電流から熱や光などが取り出せることを実感し、電力の違いによって発生する熱や光などの量に違いがあることを見いだす。</p> <p>4 帯電した物体間では空間を隔てて力が働くこと及び静電気と電流は関係があることを見いだす。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
3 学 期	<p>3章 電流と磁界</p> <p>学習のまとめ</p> <p><b>【単元2】</b> 地球の大気と天気の変化</p> <p>1章 空気中の水の変化</p> <p>2章 天気の変化と大気の動き</p> <p>3章 大気の動きと日本の四季 学習のまとめ</p>	<p>5 実験・観察を通して、電流のまわりに磁界ができることや磁界中のコイルに電流を流すと力が働くことを見いだす。</p> <p>6 実験・観察を通して、コイルや磁石を動かすことにより電流が得られることを見いだすとともに、直流と交流の違いを理解する。</p> <p>1 天気の変化が主として大気中の水の状態変化と大気の動きによって引き起こされていることを理解する。</p> <p>2 身近な気象現象の観察や観測を継続的に行うことを通して、天気の変化の規則性を見いだすことができる。</p> <p>3 日本の気象の特徴を日本周辺の気団や大気の動き、海洋の影響とを関連付けた見方や考え方ができる。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>授業は観察や実験を中心に授業を進めていきます。板書を写すだけでなくノートに自分の考えや他人の考えなどを書き留めてください。授業終了後、副教材の問題集を使ってしっかり復習しておきましょう。</p>
------	--

評価方法	<p>①関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。提出物を忘れずに提出することができている。</p> <p>②思考・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③技能…教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができている。正しく実験器具を使用することができている。</p> <p>④知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
------	---

教科	理科	科目	理科	学年	3	類型	
単位数	4	教科書	未来へひろがるサイエンス3 (啓林館)				
副教材	県版 理科問題集 (暁) 理科ノート (新学社) 観点別評価プリント (新学社) 理科資料集 (暁) ウイニング マイクリア						

学習目標	自然の事物・現象に進んでかかわり、目的意識をもって観察、実験などを行い、科学的に探究する能力の基礎と態度を育てるとともに自然の事物・現象についての理解を深め、科学的な見方や考え方を養う。 学んだことを互いに関連付け、自然を総合的に考え、発展的に考える姿勢を育てる。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	<b>【単元1】</b> 生命の連続性 1章 生物の成長とふえ方  2章 遺伝の規則性と遺伝子  学習のまとめ	1 体細胞分裂の観察を通して、その過程を確かめ、細胞の分裂を生物の成長と関連付けてとらえる。 2 無性生殖と有性生殖の動物や植物について、それぞれの特徴を理解する。 3 遺伝子交配実験の結果に基づいて、親の形質が子に伝わる時の規則性を見だし、遺伝現象について理解するとともに、生命の連続性について認識を深める。さらに分離の法則を理解する。 4 遺伝子やDNAの研究成果が、日常生活や社会にかかわる様々な分野で、利用されるようになってきていることについて、文献やコンピュータ、ネットワークなどを活用して、理解を深める。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<b>【単元5】</b> 自然と人間 1章 自然界のつりあい 2章 人間と環境	1 身近な自然環境について調べ、様々な要因が自然界のつり合いに影響していることを理解し、自然環境を保全することの重要性を認識する。 2 自然と人間のかかわり方について認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考えることができる。 3 エネルギー資源の利用や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて認識を深め、自然環境の保全と科学技術の利用の在り方について科学的に考察し、持続可能な社会をつくることが重要であることを認識する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	<b>【単元4】</b> 運動とエネルギー 1章 力のつりあい	1 実験を通して、力がつり合うときの条件や力の合成と分解についてその規則性を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

<p>2 学 期</p>	<p>2章 物体の運動 3章 仕事とエネルギー 4章 多様なエネルギーとその移 り変わり 5章 エネルギー資源とその利用 学習のまとめ</p> <p><b>【単元3】</b> 化学変化とイオン 1章 水溶液とイオン 2章 酸・アルカリと塩 学習のまとめ</p>	<p>2 力がはたらかない運動では物体は等速直線運動を し、力がはたらく運動では物体の速さが変わること を実験結果のグラフから分析することができる。</p> <p>3 物体のもつエネルギーの量は、物体が他の物体にな しうる仕事で測れることを理解する。</p> <p>4 実験を通して、運動エネルギーと位置エネルギーが 相互に移り変わり、力学的エネルギーの総量が保存 されることを理解する。</p> <p>5 仕事の概念を身につけ、エネルギーの移り変わり と保存について実感し、日常生活や社会と関連付けた 運動とエネルギーの見方や考え方ができる。</p> <p>1 水溶液の電気分解についての観察、実験を行い、実 験技能を習得するとともに、レポートを作成するこ とで、観察・実験の結果を分析して解釈し、わかり やすく表現することができる。</p> <p>2 化学変化についての観察、実験を通して、水溶液の 電気伝導性や酸性やアルカリ性の特徴、中和反応、 化学電池のしくみなどについて理解し、これらの事 物・現象をイオンのモデルと関連付けて考え、説明 できる。</p>	<p>□ □ □</p>
<p>3 学 期</p>	<p><b>【単元5】</b> 4章 科学技術と人間 5章 科学技術の利用と環境保全 学習のまとめ</p> <p><b>【単元2】</b> 宇宙の中の地球 1章 地球とその外側の世界 2章 太陽と恒星の動き 3章 月の金星の動きと見え方 学習のまとめ</p>	<p>4 科学技術の発展の過程を知るとともに、科学技術が 人間の生活を豊かで便利にしてきたことを認識す る。</p> <p>1 身近な天体の観察を通して、地球の運動について考 察し、太陽や惑星の特徴及び月の運動と見え方を理 解するとともに、太陽系や恒星など宇宙についての 認識を深める。</p> <p>2 天体の日周運動の観察を行い、その観察記録を地球 の自転と関連付けて説明できる。</p> <p>3 星座の年周運動や太陽の南中高度の変化などの観察 を行い、その観察記録を地球の公転や地軸の傾きと 関連付けてとらえ、天体の位置関係や運動について 相対的に理解する。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

<p>学習方法</p>	<p>授業は観察や実験を中心に授業を進めていきます。板書を写すだけでなくノートに自分の考え や他人の考えなどを書き留めてください。授業終了後、副教材の問題集を使ってしっかり復習 しておきましょう。</p>
-------------	--

<p>評価方法</p>	<p>① 関心・意欲・態度…学習内容を理解しようと積極的に学習に取り組んでいる。話し合いなどで積極的に意見を出したり他人の話に耳を傾けたりしている。提出物を忘れずに提出することができる。</p> <p>② 思考・表現…教科書の記述やグラフ、図など様々な資料を適切に収集し、活用して事象を多面的・多角的に考察し公正に判断するとともに、適切に表現することができる。</p> <p>③ 技能…教科書に書かれた実験手順を基に実験を行うことができる。正しく実験器具を使用することができる。</p> <p>④ 知識・理解…学習した内容の基礎的・基本的な事項を身に付けることができる。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
-------------	---

教科	音楽	科目	音楽	学年	1	類型	
単位数	1.3	教科書	中学生の音楽1 中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------	---

○歌唱 ◇器楽 ◎鑑賞 ●創作

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	達成評価		
			A	B	C
1 学 期	明るい歌声を響かせよう ○校歌「道」 曲の構成や響きを感じ取って 演奏しよう ◇●「主は冷たい土の中に」 ○◇「エーデルワイス」 音楽の特徴から 情景を表現しよう ◎「春 一第1楽章」	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の持っている歌声を見つけ、拍の流れののって明るい声で歌う</li> <li>音名、音階、音符、休符、記号の名前</li> <li>旋律のまとまりやハーモニーの変化を感じながら演奏する</li> <li>リコーダーの響きを味わいながら、曲想（3拍子やフレーズ）を感じ取り、表現を工夫して演奏する</li> <li>音楽の特徴を理解し、楽曲のよさや美しさを味わったり情景を想像したりしながら聴く</li> <li>曲想の変化を感じ取り、言葉で説明する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	パートの役割、旋律の重なり を感じ取って合唱しよう ○指揮をしてみよう！ ○「課題曲」「自由曲」 よさや美しさを感じ取って、表現 方法を工夫しよう ○◎「浜辺の歌」「赤とんぼ」 詩と音楽のかかわり ◎「魔王」	<ul style="list-style-type: none"> <li>指揮をするときのポイントをつかむ</li> <li>へ音譜表の読み方を覚えて、混声合唱を楽しむ</li> <li>合唱の響きを感じながら、仲間といっしょに表現を工夫して表情豊かに歌う</li> <li>歌詞の内容や曲想から日本の歌のもつ情緒を感じ取る</li> <li>情景を思い浮かべながら、工夫して表情豊かに歌う</li> <li>詩の内容と曲想とのかかわりを感じ取る、言葉で説明する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	日本の伝統音楽の魅力 ◇◎箏曲「さくらさくら」 卒業式に向けて ○大切なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>箏の特徴と基礎的な奏法を身に付ける</li> <li>日本伝統音楽に親しみ、よさを味わう</li> <li>曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域（「歌唱」、「器楽」、「創作」の三分野）、鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず、文化というものまで学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間にして下さい。
------	---

評価方法	【音楽への関心・意欲・態度】【音楽表現の創意工夫】【音楽表現の技能】【鑑賞の能力】の4つの観点について評価する。日頃の授業や実技テスト、ノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。
------	--

教科	音楽	科目	音楽	学年	2	類型	
単位数	1	教科書	中学生の音楽2・3上 中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	曲想を生かして、 表現を工夫しよう ○「翼をください」 ○◎「Sant Lucia」 ◇●「トンチャム」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う</li> <li>・諸外国の音楽の特徴を味わい、根拠をもって批評する</li> <li>・楽器（トンチャム）の特徴と基礎的な奏法</li> <li>・音名（イタリア語・日本語・英語）と反復記号</li> <li>・表現したいイメージを持ち、音色にふさわしい表現を工夫した演奏と旋律の創作</li> <li>・オーケストラについて</li> <li>・曲の構成と曲想とのかかわりを理解し、そのよさや美しさを根拠をもって批評する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	曲の構成を理解して、 曲想を味わおう ◎「交響曲第5番 運命」		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう ○「校歌」 ○「合唱コンクール自由曲」 舞台芸術の特徴を理解して、 その魅力を味わおう ◎オペラ・バレエ・ミュージカル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間いっしょに校歌「道」の混声二部合唱を作り上げる</li> <li>・歌詞の内容や曲想への関心とパートの役割と全体の響きとのかかわりを理解して曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに合唱する</li> <li>・舞台芸術の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわり、曲想などから理解し、よさや美しさを根拠をもって批評する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	響きの美しさを味わおう ◎「フーガ ト短調」 卒業式に向けて ○大切なもの	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パイプオルガンの響きから、声部の多声的な重なり方や多声音楽のおもしろさを味わう</li> <li>・曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域（「歌唱」、「器楽」、「創作」の三分野）、鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず、文化というものまで学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間になしてください。
------	---

評価方法	【音楽への関心・意欲・態度】【音楽表現の創意工夫】【音楽表現の技能】【鑑賞の能力】の4つの観点について評価する。日頃の授業や実技テスト、ノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。
------	--

教科	音楽	科目	音楽	学年	3	類型	
単位数	1	教科書	中学生の音楽2・3下 中学生の器楽（教育芸術社）				
副教材	県版 音楽ノート						

学習目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽を愛好する心情を育てるとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
------	---

○歌唱 ◇器楽 ◎鑑賞 ●創作

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	詞の内容を理解して、強弱を生かした表現を工夫しよう ○「花」 Let's play instruments! Guitar ◇「喜びの歌」他 ◎「アルプスの思い出」他 ポピュラー音楽の魅力 ◇JAZZ ◇ROCK 他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・歌詞の内容や曲想から、情景を思い浮かべながら、曲にふさわしい表現を工夫して表情豊かに歌う</li> <li>・楽曲の背景</li> <li>・楽器の特徴を理解し、基礎的な奏法を身につける</li> <li>・楽器の響きを味わって、音色を生かした表現方法の工夫</li> <li>・派生音の音名（英・日・伊語）とコードネーム</li> <li>・ポピュラー音楽のよさを味わい、根拠をもって批評する</li> <li>・ポピュラー音楽の特徴や背景の理解</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	仲間とともに、 表情豊かに合唱しよう ○「校歌」 ○「合唱コンクール自由曲」 曲のよさをプレゼンテーションしよう ◎バレー音楽「ボレロ」 ◎交響曲 ルールを守って音楽を楽しもう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・八中学生としての自覚と誇りを持ち、歴史と伝統に触れながら、校歌「道」の合唱を仲間と作り上げる</li> <li>・パートの役割と全体の響きとのかかわりを理解し、曲にふさわしい表現を仲間と工夫して表情豊かに合唱する</li> <li>・音楽の特徴を、文化・歴史や他の芸術とのかかわりや曲想などから理解する</li> <li>・楽曲のよさや美しさを味わいながら聴き、根拠をもって批評する</li> <li>・音楽を楽しむためのルール（著作権）の理解</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	Let's Create! ●リズムアンサンブル 卒業式に向けて ○卒業式の歌	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構成を生かしたリズムアンサンブルの創作</li> <li>・曲想や魅力を生かして、卒業式に向け表現を工夫しながら合唱する</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	表現領域（「歌唱」、「器楽」、「創作」の三分野）、鑑賞領域で学習を進めていきます。実技を伴う授業です。真剣にそして積極的に取り組みましょう。また授業を通して音楽に限らず、文化というものまで学習していきます。自分の財産となる素晴らしい作品に出会う時間にしてください。
------	--

評価方法	【音楽への関心・意欲・態度】【音楽表現の創意工夫】【音楽表現の技能】【鑑賞の能力】の4つの観点について評価する。日頃の授業や実技テスト、ノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。
------	--

教科	美術	科目	美術	学年	1	類型	
単位数	1.3	教科書	美術1 出会いと広がり (日本文教出版)				
副教材	美術資料						

学習目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	出会って広げよう	・作品の鑑賞を通して、作者の個性をつかみ、表現されている内容を素直に味わう。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	色を学ぶ	・色彩のよさや美しさに気づき、その性質や感情への影響について理解し、効果を工夫して用いる。色相環や色の性質について基礎的な事項を学習する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	文字や形で伝える	・伝えたい内容や使う場面、場所などを考え、目的に応じて形や色を工夫し、楽しい文字、美しい文字をデザインする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	版のよさを生かして	・自然や身近なものを深く観察し、版の特色や効果などを考え、意図に応じた表現方法を工夫して表す。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	心に残る情景	・生活の中で印象に残っている場面を思い出し見る人に伝わるように豊かに発想する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	使いやすさを求めて	・人々が楽しく心豊かに生活することのできるデザインとはどのようなものか考え理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	動く絵の楽しさ	・アニメーションの原理を知り、絵や立体の形・色の変化や動きの面白さを生かした表現をする。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	楽しく伝える	・見た人が楽しくなる様な、デザインを構想する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	見る・感じる・作る	・主観的な思いを大切に、それに応じた形のデフォルメや色彩の使用に幅と柔軟性を持たせる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	<p>○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。</p> <p>○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力の4つの観点より評価を行う。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もあります。</p>
------	--

教科	美術	科目	美術	学年	2	類型	
単位数	1	教科書	美術2・3上 学びの深まり (日本文教出版)				
副教材	美術資料						

学習目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	学びを深める 「伝え合う」かたち	<ul style="list-style-type: none"> <li>作家の作品を通して、作者の意図と工夫を思い描く。</li> <li>グラフィックデザインの魅力や意義を考え、生活の中で役立つピクトグラムを構想し制作する。</li> <li>感情や季節、音などのイメージを自分独自の発想や方法で表現する。</li> <li>伝統工芸の多様性や独自性に対する理解を深める。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	心でとらえたイメージ		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	受け継ぎ作る人の姿		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	新鮮な視点でとらえよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>ものの見方や感じ方を深め、新鮮な視点で対象の形や色彩の特徴をとらえて自分らしく表現するなどしてスケッチに親しむ。</li> <li>生活を豊かにするデザインの多様性に気づき、そのよさや美しさを生かして表現する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	生活を彩るデザイン		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	転がる水 デザイン	<ul style="list-style-type: none"> <li>身の回りのユニバーサルデザインを知り、その考えから学んだことを自分の提案に生かす。</li> <li>伝えたいことや主張したい内容の表し方を工夫して、効果的に伝えるための材料や用具、形、色などを考え、ポスターで表現する。</li> <li>日本や中国の水墨画を理解し、その美しさやよさを味わおう。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	「伝える」をつくる		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	墨が生み出す豊かな世界		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	<p>○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。</p> <p>○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力 の4つの観点より評価を行う。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もある。</p>
------	---

教科	美術	科目	美術	学年	3	類型	
単位数	1	教科書	美術2・3下 美の探究（日本文教出版）				
副教材	美術資料						

学習目標	<p>○主体的に美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を深め、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を高める。</p> <p>○対象を深く見つめる力、感性や想像力を一層高め、独創的・総合的な見方や考え方を培い、豊かに発想し構想する能力や自分の表現方法を創意工夫し創造的に表現する能力を伸ばす。</p> <p>○自然、美術作品や文化遺産などについての理解や見方を深め、心豊かに生きることと美術とのかわりに関心を持ち、よさや美しさなどを味わう鑑賞の能力を高める。</p>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	美を探し求めて 夢を形にするデザイン 形と色の構成 共同制作の魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作家の作品を通して、社会と美術の関わりについて理解を深める。</li> <li>・モチーフをスケッチして美しい形を見つける。</li> <li>・単純化と平面化を工夫して色面構成する。</li> <li>・名作絵画を鑑賞し良さを味わう。共同制作で模写しコミュニケーション能力や表現力を養う。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	光と影の空間演出 空想の世界への誘い 見え方の不思議 刻まれた祈り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・光と影を演出することによって、作品や空間の雰囲気が変わることに関心を持つ。</li> <li>・空想の世界をイメージすることに関心を持つ。</li> <li>・図法や錯視の原理を理解し、現実にはあり得ない不思議な面白さのある視覚の世界を表現する。</li> <li>・仏像にも様々な種類があり、時代や作者によって特徴が異なることに関心をもつ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	イメージを形で表現しよう デザインで変える現在と未来 文化 受けつぎ、作る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共の場に置かれた造形作品の役割や意義について理解する。</li> <li>・地域の問題を解決したり、未来を志向したりするためのデザインの活動について関心をもつ。</li> <li>・美術や美術作品と時代や社会との関わりに着目しながら鑑賞する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

学習方法	<p>○作品制作では、習得した知識や技能を使い効果的に生かしてください。また、自分の純粋な発想を大切に、計画的に制作を進め見通しを持って取り組んでください。</p> <p>○鑑賞では、作者の思いや意図・工夫点を感じ取り、さまざまな価値観に気づき得る寛容さを養いましょう。さらには、自らの作品作りへと生かし、発展させていきましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度 ②発想や構想の能力 ③創造的な技能 ④鑑賞の能力 の4つの観点より評価を行う。題材によっては、2つの観点や3つの観点からのみ評価を行う場合もある。</p>
------	---

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	1年	類型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち、自己の体力に応じた課題をもって運動を行うことができる。集団行動やラジオ体操第2ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技(短距離・リレー・幅跳び)	・クラウチングスタートからのスムーズな加速走や、タイミングを合わせたバトンパスでリレーを楽しむことができる。記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わいながら、基本的な動きを身につける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健(体の発達)	・思春期における心身の機能の発達の特徴や心の健康について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水泳	・手と足の動作や呼吸のタイミング、バランスをとって泳ぐことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	球技(ゴール型) サッカー・ハンドボール	・基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	ダンス(現代的なリズムのダンス) ・創作ダンス)	・リズムに乗って全身ではずんで踊る。 ・テーマから表したいイメージをとらえ、適した動きで踊る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技(長距離走) 保健(心の発達)	・自己の能力に応じて長い距離をより速くはしることができる。 ・思春期における心身の発達の特徴や心の健康について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	器械運動(マット運動)	・回転系や巧技系の基本的な技をなめらかにできるようになり、技を組み合わせ発表する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	球技(ゴール型:バスケットボール)	・基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体育理論	・運動やスポーツの必要性や楽しさ、かかわり方や学び方を理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健(健康な生活と病気の予防)	・人間の健康は、主体と環境が関わりあって成り立つこと。その要因には適切な対策があることを理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待ちましょう。</p> <p>★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がけましょう。</p> <p>★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加しましょう。</p> <p>★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れましょう。また、運動・スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高めましょう。</p> <p>★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨みましょう。</p>
------	---

評価方法	<p><b>【関心・意欲・態度】</b> ①活動状況観察 ②学習シート・レポート</p> <p><b>【思考・判断】</b> ①活動状況観察 ②学習シート・レポート ④学期末テスト</p> <p><b>【技能】</b> ①活動状況観察 ③実技テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b> ②学習シート ④学期末テスト</p>
------	---

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	2	類型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達評価		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち、自己の体力に応じた課題をもって運動を行い体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技 (ハードル・走り幅跳び)	・記録の向上や競争の楽しさ、喜びを味わいながら、基本的な動き、効率の良い動きを身につける。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	器械運動(跳び箱運動)	・開脚や閉脚とびなどの切り返し系や台上前転やスプリング系などの回転系の基本的な技を跳ぶことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	球技(ゴール型)ハンドボール	・基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・健康の保持増進のために、心身の健康に対する環境の影響について理解することができる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水泳	・足のけりを中心として進み、十分な伸びをとりながら長い距離を泳ぐことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	球技(ネット型)バレーボール	・パスやスパイク、サーブなど基本技能となるボール操作やボールを持たない時の動作を身につけ、簡単なルールでラリーやゲームを楽しむ。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	武道(柔道)	・礼法を身につけ、相手の動きに応じた基本動作から基本となる技を用いて、打ったり受けたりする攻防を展開できる	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	陸上競技	・自己の能力に応じて長い距離をより速くはしることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	球技(ベースボール型)	・基本的なバット操作やボール操作、走塁による攻防ができるとともに、簡単なゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・傷害の発生要因について理解し、障害の防止及び応急処置について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体育理論	・運動やスポーツの効果や安全な行い方について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A:十分に満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する

学習方法	<p>★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待ちましょう。</p> <p>★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がけましょう。</p> <p>★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加しましょう。</p> <p>★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れましょう。また、運動・スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高めましょう。</p> <p>★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨みましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>【関心・意欲・態度】①活動状況観察 ②学習シート・レポート</p> <p>【思考・判断】①活動状況観察 ②学習シート・レポート ④学期末テスト</p> <p>【技能】①活動状況観察 ③実技テスト</p> <p>【知識・理解】②学習シート ④学期末テスト</p>
------	---

教科	保健体育	科目	保健体育	学年	3	類型	
単位数	3	教科書	大修館書店				
副教材	ステップアップ中学体育 中学校保健体育ノート						

学習目標	健康や運動に関心を持ち、主体的に運動に親しむことができるようにするとともに、知識や技能を身につけ、基礎体力の向上及びたくましい精神を培う。
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達記評価		
			A	B	C
1 学 期	体づくり運動	・自己の体に関心を持ち自己の体力に応じた課題をもって運動を行い、体をほぐしたり、体力を高めたりすることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	選択球技(ゴール・ベースボール型)	・選択した種目において、基本的なボール操作やボールを持たない時の動き・技術を習得し、集団的技能や戦術を活かしたゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	選択球技(ネット型)	・選択した種目において、各種ストロークやサービスなどのボール操作を身につけ、ラリーやゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・健康を保持増進し、疾病を予防するための適切な対処について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	水泳(クロール・平泳ぎ)	・足のけりを中心として進み、十分な伸びをとりながら長い距離を泳ぐことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体づくり運動	・リズムやタイミングを合わせて、組体操やダンスができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	選択球技(ネット型)	・選択した種目において、各種ストロークやサービスなどのボール操作を身につけ、ラリーやゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	選択球技(ゴール・ベースボール型)	・選択した種目において、基本的なボール操作やボールを持たない時の動き・技術を習得し、集団的技能や戦術を活かしたゲームを楽しむことができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	球技:ゴール型(ハンドボール)	・感染症の原因や感染経路、感染予防の3つの対策について理解することができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・自己の能力に応じて、長い距離をより速くはしることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	長距離走		<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	器械運動とダンスの選択	・回転系や巧技系の基本的な技をなめらかにできるようになり、仲間と一緒に技を組み合わせて集団演技を発表する	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	保健	・テーマから表したいイメージをとらえ、適した動きで踊る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	体育理論	・健康になる方法と病気の防ぎ方、病気になった時の行動を学ぶ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・スポーツが文化として世界中に広まり、生活の中で重要な役割を果たしていることを理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A:十分に満足できる B:概ね満足できる C:努力を要する

学習方法	<p>★実技の時間は、チャイムですぐに始めることができるように集合場所で整列して待ちましょう。</p> <p>★挨拶や返事は大きな声で行い、きびきびとした集団行動を心がけましょう。</p> <p>★学習シートはその日のうちに書いて提出し、各自めあてをもって授業に参加しましょう。</p> <p>★自分の体力に応じた課題を持ち、日頃から生活の中に運動を取り入れましょう。また、運動・スポーツに関する情報を収集し、興味・関心を高めましょう。</p> <p>★各種目の特性や技術、ルール等はステップアップ中学体育で調べ、予習して授業に臨みましょう。</p>
------	---

評価方法	<p><b>【関心・意欲・態度】</b>①活動状況観察 ②学習シート・レポート</p> <p><b>【思考・判断】</b>①活動状況観察 ②学習シート・レポート ④学期末テスト</p> <p><b>【技能】</b>①活動状況観察 ③実技テスト</p> <p><b>【知識・理解】</b>②学習シート ④学期末テスト</p>
------	---

教科	技術・家庭	科目	技術	学年	1	類型	
単位数	2	教科書	新編新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート（新学社）						

学習目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学 期	4編 情報に関する技術 第1章 コンピュータと情報通信ネットワーク 第2章 デジタル作品の設計・制作 第3章 プログラムによる計測・制御	1 コンピュータの構成と基本的な情報処理の仕組みを知る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		2 情報通信ネットワークにおける基本的な情報利用の仕組みを知る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		3 著作権や発信した情報に対する責任を知り、情報モラルについて考えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		4 メディアの特徴と利用方法を知り、製作品の設計ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		5 多様なメディアを複合し、表現や発信ができること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		6 コンピュータを利用した計測・制御の基本的な仕組みを知る。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		7 情報処理の手順を考え、簡単なプログラムが制作できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学 期	第4章 情報に関する技術の評価・活用	8 情報に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	3編 生物育成に関する技術 第1章 生物を育てる技術の特徴				
	①生物を育てる技術について知ろう ② 植物を育てる技術を知ろう	1 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 2 生物の育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学 期	10月より家庭科を学習する。				

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	副教材の技術ノートで要点をおさえながら授業を行っていきます。パソコンを使って課題に取り組み、提出してもらうので、提出を忘れないようにしてください。
------	---

評価方法	<p>①生活や技術への関心・意欲・態度…よりよい社会を築くために、情報に関する技術や生物育成に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。 生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。</p> <p>②生活を工夫し創造する能力…よりよい社会を築くために、情報に関する技術や生物育成に関する技術を適切に評価し活用している。</p> <p>③生活の技能…ワードやエクセルなどのコンピュータの基本操作を行うことができるか。</p> <p>④知識・理解…コンピュータにおける基本的な情報処理の仕組みと情報通信ネットワークにおける安全な情報利用の利用についての知識を身に付け、情報に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業や技術ノート、課題などの学習状況及び定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
------	--

教科	技術・家庭	科目	技術	学年	2	類型	
単位数	2	教科書	新編新しい技術・家庭 技術分野（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート（新学社）						

学習目標	ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工、エネルギー変換、生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学期	10月まで家庭科を学習する。		
2 学期	3編 生物育成に関する技術 第1章 生物を育てる技術の特徴 ③動物を育てる技術を知ろう ④水産生物を育てる技術を知ろう 第2章 生物を育てるための計画と管理 ①生物の育成計画を立てよう ②植物や環境を観察して育成しよう 第3章 生物育成に関する技術の評価・活用 ①生物育成に関する技術を未来に生かそう 学習のまとめ	1 生物の育成に適する条件と生物の育成環境を管理する方法を知る。 2 生物の育成に関する技術の適切な評価・活用について考えることができる。 3 目的とする生物の育成計画を立て、生物の栽培又は飼育ができること。	□ □ □ □ □ □ □ □ □
3 学期	1編 材料と加工に関する技術 第1章 材料と加工法 ①材料と加工に関する技術について知ろう ②材料の特徴を知ろう ③ 材料に適した加工法を知ろう ④ 製作品を丈夫にする方法を知ろう	1 技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしている役割について考えることができる。 2 材料の特徴と利用方法を知る。 3 材料に適した加工法を知り、工具や機器を安全に使用できる。	□ □ □ □ □ □ □ □ □

<p>第2章 製作品の設計・制作</p> <p>①生活に役立つ製作品を構想しよう</p> <p>②製作品の構想をまとめよう</p> <p>製図</p> <p>③作業手順を考えて制作しよう</p> <p>基礎技術</p> <p>④完成した製作品を評価しよう</p> <p>第3章 材料と加工に関する技術の評価・活用</p> <p>①材料と加工に関する技術を未来に生かそう</p> <p>学習のまとめ</p>	<p>4 使用目的や使用条件に即した機能と構造について考えることができる。</p> <p>5 構想の表示方法を知り、製作図を書くことができる。</p> <p>6 部品加工、組立て及び仕上げができること。</p>	<p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p> <p>□ □ □</p>
--	---	--

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

<p>学習方法</p>	<p>副教材の技術ノートで要点をおさえながら授業を行っていきます。木の板を使って作品を制作してもらうので提出を忘れないようにしてください。</p>
-------------	---

<p>評価方法</p>	<p>①生活や技術への関心・意欲・態度…よりよい社会を築くために、材料と加工に関する技術や生を適切に評価し活用しようとしている。 生物育成に関する技術に関わる倫理観を身に付け、知的財産を創造・活用しようとしている。</p> <p>②生活を工夫し創造する能力…よりよい社会を築くために、生物育成に関する技術を適切に評価し活用している。</p> <p>③生活の技能…工具や機器を安全に使用できる。</p> <p>④知識・理解…材料の特徴と利用方法及び材料に適した加工法についての知識を身に付け、材料と加工に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業や技術ノート、課題などの学習状況及び定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
-------------	--



学習方法	副教材の技術ノートで要点をおさえながら授業を行っていきます。はんだごてを使って作品に取り組み、提出してもらうので、提出を忘れないようにしてください。
評価方法	<p>① 生活や技術への関心・意欲・態度…よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用しようとしている。</p> <p>②生活を工夫し創造する能力…よりよい社会を築くために、エネルギー変換に関する技術を適切に評価し活用している。</p> <p>③生活の技能…機器の保守点検と事故防止ができる。</p> <p>④知識・理解…エネルギー変換方法や力の伝達の仕組みについての知識を身に付け、エネルギー変換に関する技術と社会や環境とのかかわりについて理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業や技術ノート、課題などの学習状況及び定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>

教科	技術・家庭	科目	家庭	学年	1	類型	
単位数	2	教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート 家庭分野						

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価 A B C
1 学期	前半は 技術分野を学習します。10月から家庭分野です。		
2 学期	家庭分野のガイダンス  1編 私たちの食生活 1章 食生活と栄養  2章 献立作りと食品の選択  3章 調理と文化 ○りんごの皮むきテスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校の学びの振り返りと中学3年間で学ぶことの見通しを持つ。</li> <li>・自分の食生活に関心を持ち、生活の中で食事が果たす役割を理解し、健康によい食習慣について考えること。</li> <li>・栄養素の種類と働きを知り、中学生に必要な栄養の特徴について理解する。</li> <li>・食品の栄養的特質や中学生の1日に必要な食品の種類と概量について知る。</li> <li>・食品の品質を見分け、用途に応じて選択しながら、中学生の1日分の献立を考える。</li> <li>・安全と衛生に留意し、食品や調理用具などの適切な管理ができるようになる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3 学期	○和食弁当（魚と野菜の調理） ○洋食弁当（肉と野菜の調理） 2編 私たちの衣生活と住生活 2章 住生活と自立  ○生活の課題と実践  ○学んだことを発表しよう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な日常食の調理ができるようになる。</li> <li>・家庭の住空間について考え、住居の基本的な機能について知る。</li> <li>・家族の安全を考えた室内環境の整え方を知り、快適な住まい方を考える。</li> <li>・住生活の学習に関心を持ち、課題をもって住生活について工夫し、計画を立てて実践する。</li> <li>・発表の機会を持つことで自薦の成果や課題を明確にする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにしましょう。</p> <p>各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。</p> <p>実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全に、かつ協力して進めましょう。</p>
------	--

評価方法	<p>評価は次のような観点で、様々な角度から総合的に判断します。</p> <p>○生活や技術への関心・意欲・態度</p> <p>・授業態度（落ち着いた態度で参加し、よく聞き、よく発表しているか）</p>
------	---

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題、提出物（期限までに提出できたか）、ノート・プリント（確実に記入されているか）</li> <li>・自己評価、総合評価（正しく評価できたか）</li> <li>○生活を工夫し創造する能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・計画（課題に着実に取り組み、工夫したレポート・計画になっているか）</li> <li>・発表（自分で考え、自分なりに考えた発表をしているか）</li> <li>・作品（自分なりに工夫した、生活に役立つ作品を制作することができたか）</li> </ul> </li> <li>○生活の技術 <ul style="list-style-type: none"> <li>・作品（製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げたか）</li> <li>・実技テスト（課題を確実に達成できたか、上手に正しく道具が扱えるか）</li> <li>・発表（聞いている人にわかりやすい発表ができたか）</li> </ul> </li> <li>○生活や技術についての知識・理解 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーテスト（身につけておくべき知識が着実に定着しているか）</li> <li>・ワークシート（課題を解決することができたか）</li> </ul> </li> </ul>
--	---

教科	技術・家庭	科目	家庭	学年	2	類型	
単位数	2	教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）				
副教材	熊本県版 技術・家庭学習ノート 家庭分野						

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	2編 私たちの衣生活と住生活 1章 衣生活と自立 ○手入れの基礎技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・衣服と社会生活とのかかわりを理解し、目的に応じた着用や個性を生かす着用を工夫できる。</li> <li>・衣服の計画的な活用の必要性を理解し、適切な選択ができる。</li> <li>・衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れができる。 (シャツの取り扱い表示を見てアイロンかけをします。)</li> <li>・布を用いた物の製作を通して、生活を豊かにするための工夫ができる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	2章 生活を豊かにするために ○製作の基礎技能 (衣服)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製作に必要な時間等の見通しを持ち、目的に応じた縫い方や製作方法について理解する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	○製作の基礎技能 (小物)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手縫いやミシン縫いなどの基礎的・基本的な知識と技術を活用し、生活を豊かにするものを製作する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
	1編 私たちの食生活 3章 調理と文化 ○地域の食材を生かした調理をしよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域または季節の食材を生かすなどの調理を通して、地域の食文化について理解する。</li> <li>・食生活に関心を持ち、課題を持って日常食または地域の食材を生かした調理などの活動について工夫し、計画を立てて実践できる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	10月から 技術分野を学習します。				

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	<p>授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにしましょう。</p> <p>各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。</p> <p>実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全にかつ協力して進めましょう。</p>
------	---

評価方法	<p>評価は次のような観点で、様々な角度から総合的に判断する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○生活や技術への関心・意欲・態度 <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業態度（落ち着いた態度で参加し、よく聞き、よく発表しているか）</li> <li>・宿題、提出物（期限までに提出できたか）、ノート・プリント（確実に記入されているか）</li> <li>・自己評価、総合評価（正しく評価できたか）</li> </ul> </li> <li>○生活を工夫し創造する能力 <ul style="list-style-type: none"> <li>・レポート・計画（課題に着実に取り組み、工夫したレポート・計画になっているか）</li> <li>・発表（自分で考え、自分なりに考えた発表をしているか）</li> <li>・作品（自分なりに工夫した、生活に役立つ作品を制作することができたか）</li> </ul> </li> <li>○生活の技術</li> </ul>
------	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>・作品（製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げたか）</li><li>・実技テスト（課題を確実に達成できたか、上手に正しく道具が扱えるか）</li><li>・発表（聞いている人にわかりやすい発表ができたか）</li></ul> <p>○生活や技術についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ペーパーテスト（身につけておくべき知識が着実に定着しているか）</li><li>・ワークシート（課題を解決することができたか）</li></ul>
--	--

教科	技術・家庭	科目	家庭	学年	3	類型	
単位数	1	教科書	新編 新しい技術・家庭 家庭分野 自立と共生を目指して（東京書籍）技術・				
副教材	技術・家庭 家庭分野 準拠ノート（教育図書）						

学習目標	衣食住などに関する実践的・体験的な学習活動を通して、生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、家庭の機能について理解を深め、これからの生活を展望して、課題をもって生活をよりよくしようとする能力と態度を育てる。
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	3編 私たちの成長と家族・地域 1章 家族・家庭と地域 2章 幼児の生活と家族 3章 これからの私と家族 ○幼児のおもちゃを手作りしてみよう	・自分の成長と家族や家庭生活とのかかわりについて理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・これからの自分と家族とのかかわりに関心を持ち、家族関係をより良くする方法を考える。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・幼児の発達と生活の特徴を知り、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・幼児の遊び道具の製作活動を通して、幼児の遊びの意義について理解する。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	4編 私たちの消費生活 1章 私たちの消費生活  2章 環境に配慮した消費生活  ○幼稚園訪問	・自分や家族の表紙生活に関心を持ち、消費者の基本的な権利と責任について理解すること。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・販売方法の特徴について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択、購入及び活用ができる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
		・自分や家族の消費生活が環境に与える影響について考え、環境に配慮した消費生活について工夫し、実践できる。	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	10月から 技術分野を学習します。				

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業で身につけた知識や技術を日常生活のなかで生かし、日々の生活の改善・充実に努めるようにしましょう。 各課題は基本的には学校内で行う。課題の提出については期限を守りましょう。 実習に際しては、沈黙と集中をもって取り組み、安全に、かつ協力して進めましょう。
------	---

評価方法	評価は次のような観点で、様々な角度から総合的に判断する。 ○生活や技術への関心・意欲・態度 ・授業態度（落ち着いた態度で参加し、よく聞き、よく発表しているか） ・宿題、提出物（期限までに提出できたか）、ノート・プリント（確実に記入されているか） ・自己評価、総合評価（正しく評価できたか） ○生活を工夫し創造する能力 ・レポート・計画（課題に着実に取り組み、工夫したレポート・計画になっているか） ・発表（自分で考え、自分なりに考えた発表をしているか） ・作品（自分なりに工夫した、生活に役立つ作品を制作することができたか） ○生活の技術
------	--

	<ul style="list-style-type: none"><li>・作品（製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げたか）</li><li>・実技テスト（課題を確実に達成できたか、上手に正しく道具が扱えるか）</li><li>・発表（聞いている人にわかりやすい発表ができたか）</li></ul> <p>○生活や技術についての知識・理解</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ペーパーテスト（身につけておくべき知識が着実に定着しているか）</li><li>・ワークシート（課題を解決することができたか）</li></ul>
--	--

教科	外国語	科目	英語	学年	1	類型	
単位数	4	教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition1				
副教材	中学必修テキスト中学1年英語, 中学実力練成αスタンダード英語1年, トーク・アンド・トーク・ライト Book1 , Active Phonics						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な文章や表示・掲示を理解することができる。</li> <li>・簡単な文や指示を理解することができる。</li> <li>・簡単な文を使って話したり、質問をしたりすることができる。</li> <li>・簡単な文やメモを書くことができる。</li> </ul>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 1 I am Tanaka Kumi</li> <li>・ Lesson 2 My school</li> <li>・ Lesson 3 I like soccer</li> <li>・ Project①自己紹介をしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Be 動詞 (肯定, 疑問, 否定)、This / That is ~. (肯定, 疑問, 否定)、What is this?、一般動詞 (肯定, 疑問, 否定)、What do you have ~? の習得。</li> <li>・ クラスの友人に自分のよさが伝わるような表現を学ぶ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 4 Field Trip</li> <li>・ Lesson 5 Our New Friend</li> <li>・ Lesson 6 My Family</li> <li>・ Project②友達にインタビューをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 複数形、How many~?、命令文、疑問詞、人称代名詞、3人称単数現在形 (肯定, 疑問, 否定) の習得。</li> <li>・ インタビューをして友達の紹介文を作るため、質問の仕方や書き方を学ぶ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 7 Sports for Everyone</li> <li>・ Lesson 8 School Life in the USA</li> <li>・ Lesson 9 Four Seasons</li> <li>・ Project③大切なものを紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 助動詞 can (肯定, 疑問, 否定)、現在進行形 (肯定, 疑問, 否定)、過去形《一般動詞》(肯定, 疑問, 否定) の習得。</li> <li>・ 絵や写真を見せながら、自分にとって大切なものを Show &amp; Tell で紹介する。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
			<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A : 十分に満足できる B : 概ね満足できる C : 努力を要する

学習方法	授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて单元ごとに技能を高めます。復習として中学必修テキスト、中学実力練成αスタンダード等を用いて既習事項の徹底を図ります。また、小テストや单元テスト等を実施してスモールステップを実践します。
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度…コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>②表現…外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。</p> <p>③理解…外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。</p> <p>④知識・理解…外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。・授業や課題などの学習状況及び Lesson ごと的小テストや定期考査などをもとにして総合的に評価する。</p> <p>・パフォーマンステストでは、英語での表現能力を評価する。</p>
------	--

教科	外国語	科目	英語	学年	2	類型	
単位数	4	教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition2				
副教材	中学必修テキスト中学2年英語, 中学実力練成αスタンダード英語2年, トーク・アンド・トーク・ライト Book2, 速読英単語中学編						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な物語や身近なことに関する文章を理解することができる。</li> <li>・ゆっくり話してもらえば、身近なことに関する話や指示を理解することができる。</li> <li>・身近なことについて簡単なやりとりをしたり、自分のことについて述べるすることができる。</li> <li>・自分のことについて簡単な文章を書くことができる。</li> </ul>
------	--

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 1 Aloha!</li> <li>・ Lesson 2 Peter Rabbit</li> <li>・ Lesson 3 The Ogasawara Islands</li> <li>・ Project①有名人を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 過去形 (一般動詞) の復習、過去形 (be 動詞) の肯定、疑問、否定、過去進行形、接続詞 when、未来を表す表現 (will, be going to)、接続詞 that の習得。</li> <li>・ 好きな有名人のプロフィールを紹介するポスターを作り、描写や説明の方法、質問の仕方を学ぶ。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 4 Enjoy Sushi</li> <li>・ Lesson 5 Uluru</li> <li>・ Lesson 6 My Dream</li> <li>・ Project②自分の夢を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ There is [are] ~、動名詞、動詞 (give など) + A + B 動詞 (look など) + A、不定詞 (名詞用法、副詞用法、形容詞用法) の習得。</li> <li>・ 将来の夢や、将来やりたいことについてスピーチをする。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 7 Presentation</li> <li>・ Lesson 8 India, My Country</li> <li>・ Project③自分の町を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 比較級、最上級 (形容詞・副詞)、as ~ as ...、受け身形 (肯定・by ...の文) の習得。</li> <li>・ 自分の町について紹介するため、英語で (返信の) メールを書くことができるようになる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A : 十分に満足できる B : 概ね満足できる C : 努力を要する

学習方法	予習をして授業の精度を高めます。授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて单元ごとに技能を高めます。復習として既習事項の徹底を図ります。また、小テスト/单元テストを実施してスモールステップを実践します。
------	---

評価方法	<p>① 関心・意欲・態度…コミュニケーションに関心を持ち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。</p> <p>②表現…外国語で話したり書いたりして、自分の考えなどを表現している。</p> <p>③理解…外国語を聞いたり読んだりして、話し手や書き手の意向などを理解している。</p> <p>④知識・理解…外国語の学習を通して、言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。</p> <p>以上4つの観点について、日頃の授業やノート、課題などの学習状況及び小テストや定期考査の得点などをもとにして総合的に評価する。</p>
------	--

教科	外国語	科目	英語	学年	3	類型	
単位数	4	教科書	NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition 3				
副教材	中学必修テキスト中学3年英語, 中学実力練成αスタンダード英語3年, トーク・アンド・トーク・ライト Book3, 速読英単語入門編						

学習目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単な説明文を理解したり、図や表から情報を得たりすることができる。</li> <li>・日常生活での話題や簡単な説明・指示を理解することができる。</li> <li>・日常生活で簡単な用を足したり、興味・関心のあることについて自分の考えを述べたりすることができる。</li> <li>・興味・関心のあることについて簡単な文章を書くことができる。</li> </ul>
------	---

学期	学習内容	学習の到達目標 (完全に理解すべき事項)	到達自己評価		
			A	B	C
1 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 1 My Favorite Words</li> <li>・ Lesson 2 France – Then and Now</li> <li>・ Lesson 3 Rakugo Goes Overseas</li> <li>・ Project①先生にインタビューをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受動態の復習</li> <li>・ 自分の好きなことばについてスピーチする。</li> <li>・ 現在完了形の継続用法（肯定文, 疑問文, 否定文）の習得。</li> <li>・ 現在完了形の完了用法と経験用法（肯定文, 疑問文, 否定文）の習得。</li> <li>・ インタビューした内容を簡潔にメモし、内容をまとめる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 4 The Story of Sadako</li> <li>・ Lesson 5 Places to Go, Things to Do</li> <li>・ Lesson 6 I Have a Dream</li> <li>・ Project②日本文化を紹介しよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ call + A + B, make + A + B, It ~ for 人 to . . . の習得。</li> <li>・ 関係代名詞の主格、目的格の習得。</li> <li>・ 後置修飾の使い方の理解。</li> <li>・ 日本の誇れる文化について、人に説明できるようになる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
3 学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ Lesson 7 English for Me</li> <li>・ Project③ディスカッションをしよう</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ want 人 to . . . 、間接疑問の習得。</li> <li>・ 身近な話題について、自分の意見を述べたり、人の意見を聞いたりし、英語でディスカッションができるようになる。</li> </ul>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

※A：十分に満足できる B：概ね満足できる C：努力を要する

学習方法	授業では、言語の理解・習熟・応用のバランスを考えて単元ごとに技能を高めます。復習として中学必修テキスト、中学実力練成αスタンダード等を用いて既習事項の徹底を図ります。また、小テストや単元テストを実施してスモールステップを実践します。
------	--

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 授業や課題などの学習状況及び Lesson ごと的小テストや単元テスト、定期考査などをもとにして総合的に評価する。</li> <li>・ パフォーマンステストでは、英語での表現能力を評価する。</li> </ul>
------	--